

B R I D G E 令和 5 年度末評価について

令和 6 年 2 月 1 3 日
S I P / B R I D G E 評価委員会
科技イノベーション事務局 S I P / B R I D G E 総括

1. 評価について

- (1) 「科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針（平成 2 6 年 5 月）」⑦評価、「戦略的イノベーション創造プログラム運用指針（平成 2 6 年 5 月）」研究開発と Society5.0 との橋渡しプログラム（B R I D G E）の運用指針（令和 4 年 1 2 月）」（以下、「運用指針」という。）5.（1）② ii）に基づき令和 5 年度にかかる年度末評価を実施したので報告する。
- (2) 評価は、各省庁において任命した各省 PD が作成した、外部有識者の評価意見を踏まえた評価（自己点検）結果を基に、ガバニングボードが設置した評価委員会により実施している。
- (3) 令和 5 年度の採択施策の詳細な実施内容等については、第 1 0 9 回ガバニングボード（令和 5 年 6 月 2 9 日開催）及び第 1 1 1 回ガバニングボード（令和 5 年 1 0 月 5 日開催）により検討いただいている。
- (4) 本日のガバニングボードでは、報告結果等を元に意見・コメント等をいただくとともに、評価結果についてガバニングボード承認をお願いしたい。
- (5) 評価結果は、課題関係者に提示の上、今後の実施、運営に反映等を行うこととしたい。なお、評価結果は、本日のご議論を反映させ、評価委員会座長の承認の上で、ホームページによる公表を行う。

2. 全体評価総論

- (1) 年度末評価にかかる進捗状況、成果についての考察（論点整理の総論）
 - ①一部の課題を除き技術開発等が開始されている。一方、成果については、進捗が著しい、遅い、等のばらつきがある。
 - ② B R I D G E 終了後に社会実装を想定した体制構築をしている課題がある。その一方で、社会実装に向けて B R I D G E 成果がどのような役割を持つか、そのための課題終了時点での目標、KPI の設定が未だ曖昧な課題もある。

③関係省庁施策、S I P等との関係性、位置付けを明確にし、連携の上で実施している課題がある。一方で、関連施策等との関係性が未だ曖昧であるとともに、事業終了時点での社会実装、各省連携、成果の波及性等の観点からB R I D G E 事業たる意義についての説明が不十分な課題もある。

(2) 評価結果の概要については、以下のとおり。

①総合評価（進捗状況）

評価	基準	該当課題数
S	社会実装に向けたシナリオ、目標設定、体制等が妥当であり、加速的な成果を上げている。	6
A	社会実装に向けたシナリオ、目標設定、体制等が妥当であり、計画の通りに進捗している。	10
B	社会実装に向けたシナリオ、目標設定、体制等に検討の余地がある、または計画よりも遅れている	14
C	社会実装に向けたシナリオ、目標設定、体制等に検討の余地がある、かつ計画よりも遅れている	3

注) 厚生労働省の「健康危機管理・災害時の保健・医療・福祉に関する 横断的な支援体制の構築」については、PDをはじめ関係者が災害対応のため、現時点で震災以降、継続できていない状況である。また、次年度の研究開発の再開時期も不明のため、今回の年度末評価においては評価しないと整理した。

3. 各課題の評価結果

別添資料のとおり。